

ICカード機能拡充事業費補助金(ICカード「ですか」)

交通運輸政策課

★バス路線再編(ハブ&スポーク方式の導入)の実現には、「ですか」の乗継割引制度(利用者の乗継の抵抗を減す)の導入は欠かせない★

<現状>

- ICカード「ですか」
運用開始:H21.1.25 発行枚数:約8万枚
全利用者に占める「ですか」利用率:6割強
- バス路線再編(24年度の取り組み状況)
・高知県中央地域バス路線再編協議会による路線再編案の具体化の検討
・高知市の中心部から様々な地域に直通で運行されている路線を見直し、乗継ポイントを設定した幹線と支線に整理する「ハブ&スポーク」の考え方を取り入れ、効率的で、わかりやすいバス路線の構築を目指している。

<課題>

現在の「ですか」のシステムでは乗継割引に対応できないため、同じ目的地に乗り換えて移動した場合、**直通より運賃がある**こととなる。
⇒バス路線再編の実現に支障となる

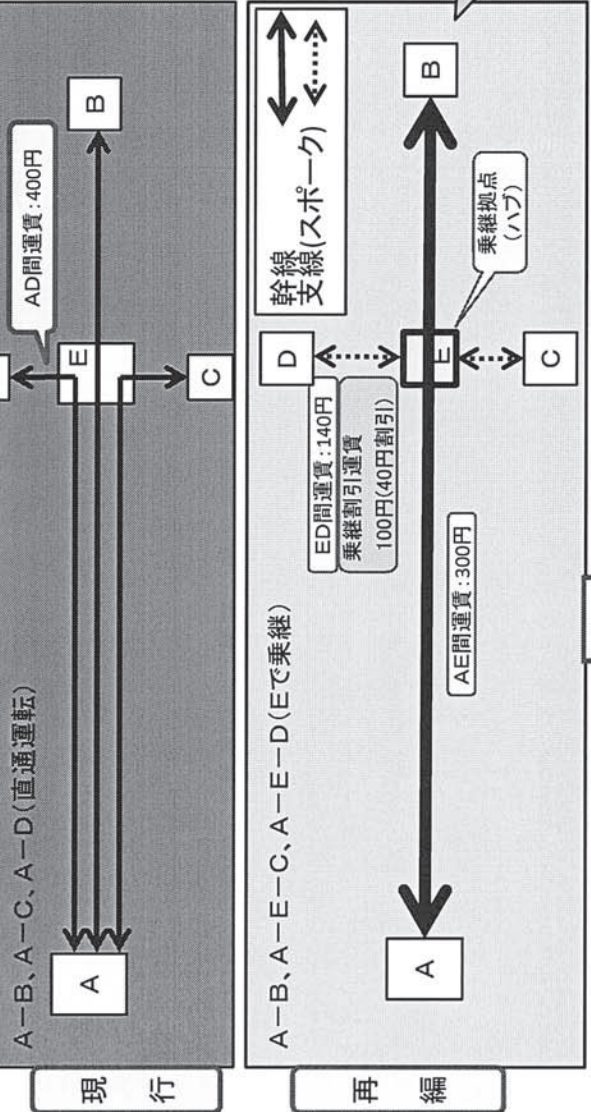
<対策> ICカード機能拡充事業費補助金

- ICカード「ですか」への乗継割引機能の付加
- 実施主体:株式会社「ですか」
- 補助率:2/3
- 事業費:13,100千円
- 県補助額8,734千円 事業者負担額4,366千円
- 一財2,621千円
- 国費6,113千円(社会資本整備総合交付金)

<効果>

- ・バスを乗り継いだ場合でも利用者の負担が増えない仕組みが実現し、**バス路線再編による効率的な路線運行が可能**となる。
- ・電車とバスを乗り継ぐ場合など、**新たな割引サービス**の可能性が広がり、利用者の利便性向上が期待できる。

ハブ&スポークによる路線再編(乗継割引事例)



バス路線再編スケジュール

- 23年度 バス路線の現状分析等
- 24年 4月～ 路線再編案の具体化等
(広域的幹線的バス路線を中心とした見直し)
- 10月～ 一部路線の運行開始
(乗継路線のモデルケース)
- 25年 4月 路線再編案の決定
「ですか」割引運賃のシステム改良着手
- 6月 国庫補助路線に関する計画書の提出
- 10月～ 再編ダイヤによる運行開始
ですかの乗継割引システム運用開始
- 26年度以降 再編後の検証、路線見直しの継続

「幹線」: 主要路線に集約し、効率的な運行
(等間隔ダイヤ、行き先表示の統一などによる利便性向上)

「支線」: 増便による路線の充実
(幹線見直しによる削減コストを支線に配分)

バス路線再編は「ですか」の機能拡充で課題解決!

乗継割引機能の付加により利用者の乗継の抵抗を軽減できる